

渋沢とグリフィス、それぞれの人生と日米関係

【渋沢栄一】

1840	天保11	0	武州血洗島（深谷市）で出生。
1843	天保14	3	
1850	嘉永3	10	
1854	安政1	14	家業(農業・養蚕・藍売)に努める。
1856	安政3	16	代官との対話に世の理不尽を覚る。
1858	安政5	18	一歳下のいとこ尾高千代と結婚。
1859	安政6	19	
1860	万延1	20	
1861	文久1	21	
1863	文久3	23	攘夷決行を計画、中止。出郷。
1864	元治1	24	京都で一橋徳川家に仕える。
1865	慶応1	25	歩兵徴募のため一橋領を巡る。
1866	慶応2	26	
1867	慶応3	27	徳川昭武の渡仏に随行。
1868	明治1	28	帰国。
1869	明治2	29	静岡で商法会所設立。民部省出仕。
1870	明治3	30	
1871	明治4	31	大蔵省で廃藩の実務に奔走。
1872	明治5	32	
1873	明治6	33	大蔵省を辞職。第一国立銀行創設。
1876	明治9	36	東京会議所会頭就任。
1877	明治10	37	
1879	明治12	39	グラント将軍の歓迎に尽力。

【日本の国情と日米外交】

オランダからアヘン戦争の報告。
水野政権が幕府権力の強化に挫折。
日米の国交樹立。
T.ハリスとH.ヒュースケンの来日。
井伊政権がハリスと条約締結。
条約の勅許が留保され、政争激化。
横浜開港。G.フルベッキ、長崎来住。
日本使節団渡米。井伊大老暗殺。
ヒュースケン暗殺。
将軍と諸大名の上洛。長州で攘夷決行。
長州軍が京都を攻め、撃退される。
通商条約の勅許。幕府と薩長の対立。
長州戦争。徳川慶喜が将軍就任。
徳川慶喜による大政奉還。
戊辰戦争。旧将軍家が静岡へ移封。
横井小楠暗殺。版籍奉還（旧大名が 天皇により諸藩の知事に任命される）。
廃藩置県。岩倉使節団が渡米。
岩倉使節団がグラント大統領に謁見。
キリスト教が事実上解禁。
廃刀令。熊本で反西洋士族の反乱。
九州で士族の大反乱。
米国前大統領グラントの来日。

【W.E.グリフィス】

0	フィラデルフィアで出生。
7	父とサスケハナ号の進水式を見る。 (3年後ペリー艦隊の旗艦として来日)
13	
15	
16	
17	フィラデルフィアで日本使節団を見る。
18	米国で内戦勃発（南北戦争、～'65年）。
20	出征。
21	回心し、宗教者の道を歩み出す。
22	ラトガース大学に入る。
23	横井小楠の甥の先生になる。
24	日下部太郎の渡米（3年後逝去）。
25	
26	大学を卒業し、神学校に進む。
27	来日（横浜に上陸）。
28	<u>福井に赴任し、藩校で科学を教授。</u>
29	東京の教職に移る。姉マギーも来日。
30	姉が教職に就く（翌年、共に帰国）。
33	<i>The Mikado's Empire</i> 『皇国』出版。
34	ニューヨーク州で牧師となる。
36	キャサリン・スタントンと結婚。

1882 明治15	42 長女歌子と穂積陳重の結婚。千代夫人逝去（翌年伊藤かねと再婚）。	1883年、長女をさずかる。(38)
1888 明治21	48 次女琴子と阪谷芳郎の結婚。静岡在住の徳川慶喜、従一位を授かる。	1887年、ペリーの伝記を出版。(44)
1894 明治27	54 福地桜痴らと慶喜公伝編纂準備。不平等条約の一部改正。日清戦争。	1895年、ハリスの伝記を出版。(52)
1898 明治31	58 慶喜が天皇に拝謁（前年東京に移住）。	55 夫人が43歳で逝去。
1901 明治34	61 自邸で慶喜公伝編集開始。講話においてグリフィスの『皇国』に言及。	1900年、サラ F. キングと再婚。
1902 明治35	62 欧米視察の旅（初めての渡米）。日英同盟。徳川慶喜が公爵となる。	フルベッキ伝を出版。(57)
1903 明治36	63 翌年にかけて病で静養。	60 牧師の仕事から引退する。
1904 明治37	64 天皇から見舞が届き感動する。日露開戦。翌年米国の仲介で講和。	61
1906 明治39	66 サンフランシスコで日本人学童隔離事件。	
1907 明治40	67 徳川慶喜が出席する史談会の発足。米国がハワイから本土への移民を制限。	64 <i>The Japanese Nation in Evolution</i> 出版。
1908 明治41	68 日米紳士協定（日本政府は労働者に米国本土への旅券を発給しない）。	
	米国太平洋岸の実業家50余名を日本に招き、飛鳥山の自邸でもてなす。	65 勲四等旭日章受章。（昭和の再来日の際に勲三等を受賞）。
1909 明治42	69 80以上の役職をごく一部除き退く。実業団53名を率いて渡米。10月10日、シラキュース近郊にあるW.フルベッキの学校で、グリフィスの演説を聞いて反論。20日、ハリスの墓参。	
1913 大正2	73 徳川慶喜逝去。カリフォルニア州が日本人の土地所有を禁ずる。	70 姉マギー、75歳で逝去。
1915 大正4	75 サンフランシスコの日米委員会に招かれ渡米。日本側の委員会設立に賛同。	72 <i>The Mikado</i> 『ミカド』出版。
1916 大正5	76 日米関係委員会を組織。財界の全役職を辞任。	73
1917 大正6	77 日米協会創立。徳川慶喜公伝編纂完了し、慶喜の墓前で献呈式。	74
1920 大正9	80 子爵となる。米国の実業家たちが来日し、日米有志で排日問題を協議。	77
1921 大正10	81 ワシントン会議代表を側面支援するため渡米。	1923年、 <i>Japanese Fairy Tales</i> 出版。(80)
1924 大正13	84 米国で排日移民法案が可決した翌日、講演で絶望を吐露。	81 <i>Proverbs</i> (ことわざ) of Japan 出版。
1926 大正15	86 穂積陳重逝去。来日するグリフィス夫妻への便宜を外務省から依頼される。12月29日、夫妻来日。	
1927 昭和2	87 3月3日「青い目の人形」の受入れ式。	84 4月26～29日、福井滞在。
	5月9日、グリフィス夫妻が日本女子大で講演。渋沢と会談。12日、飛鳥山の渋沢邸で夫妻を歓迎する午餐会。	
1928 昭和3	88 渋沢と阪谷連名でグリフィス夫人に弔電を発信。	2月5日、逝去。
1931 昭和6	91 11月11日、逝去。世界恐慌広がる。満州事変。	